THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2021-2022)
国際会長主題 ： "Y's Men with the World" 「世界とともにワイズメン」
アジア会長主題： "Make a difference beyond the 100th"「100 年を超えて変革しよう」
西日本区理事主題： "Challenges for the future" 「未来への挑戦」
中西部部長主題："Love your neighbor as yourself!"「隣人愛を実践しよう！」
クラブ会長主題：「ずっと一緒に！・・・新しい仲間を見つけつつ」

Monthly Bulletin
第 300 号
2022 年 1 月

聖書のことば

主は人の一歩一歩を定め、
御旨にかなう道を備えて下さる。

詩篇 37篇23 節
選者 山佐 亜津子

１月例会プログラム

＝ 中西部合同新年会 ＝

日時：2022 年 1 月 10 日（月・祝）13：00～15：00
場所：ホテルグランヴィア大阪 名庭 A

司会 藤好 基子

第 1 部
1. 開会点鐘、挨拶 保田 圭子会長
2. ワイズソング
3. 開会祈祷 江見 叔子
6. 来賓挨拶、他
7. 講談 **旭堂 南照 さん**

第 2 部
8. ご挨拶 福島眞一次期部長
9. 「おしゃべりタイム」
10. 実行委員長挨拶 吉田 由美
11. YMCA の歌
12. 閉会点鐘 保田 圭子会長

12 月 統 計		
第 1 例会出席者	例会出席率	B F 統 計
メンバー 10 名	出席者 10 名	日本 233g 累計 1237g
ビジター 6 名	メイキャップ 4 名	外国 0g 累計 78g
ゲスト 名	合 計 14 名	現金 円 累計 円
コメット 1 名	在籍者 14 名	提供者： 國友 杉浦 保田
合 計 16 名	出席率 100 %	吉田 和田

「新年を迎えて」

保田 圭子

皆様あけましておめでとうございます。
会長として半年が過ぎ、新年のご挨拶をするときになりました。
もう、半年？ まだまだ慣れず、「保田会長」と言われるとドキドキしてしまいますが、でも何とか半年すぎました。コロナ禍にあって今後どうなることかと思いつつの出発でしたが、その前にみんなが zoom を使ってリモートで例会ができるようになりこれはもう大変な進歩でした。オリンピックの後感染者が増えてどうなることかと思いましたが、zoom で第 2 例会もやることができ、やれやれ。
そして、「えっ？？」という感じで感染者が減ってきました。でも、これは束の間のコロナの晴れ間、油断するな、第 6 波が来ると言われています（現にオミクロン株とやらが来ています）。ホンマにうっとおしい！。
「早く元の暮らしが来ますように」というお祈りはよく聞かれますが先日「この状況の中で私たちができることを見出せますように」というお祈りをされた方がありました。コロナのせいでと悔しがることはたくさんありますが、恨んでばかりでははじまりませんね。
聖書の中に「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む」という言葉があります。昔は忍耐だの練達だの大げさな！と、おもっていましたがコロナ禍の今、この言葉は胸に響きます。あと半年の会長として忍耐と練達の中から希望を生み出すことをしたいと思います。

12月例会報告

待ちに待った「潜伏キリシタン」のお話

杉浦　眞喜子

12月11日（土）14時より、我が大阪なかのしまクラブの12月例会が持たれました。卓話者の溝口さんをはじめ京都トゥービークラブより３人のビジターが、その他にも大阪センテニアルから谷川さん、Zoomで東京たんぽぽの小原さん、大阪サウスのメンバーでもある大阪YMCAの立山さんなど、それにほんとうに久し振りのリアル参加の國友さんも迎え、うれしい例会の始まりでした。

今日の卓話は、なかなか実現出来なかった溝口さんの「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」。潜伏キリシタンの末裔（？）と伺ってから、一度お話を伺ってみたいと思っていました。丁寧に準備されたPowerPointを使ってのお話は、興味津々、どんどん引き込まれていきました、どのようにしてキリスト教が伝来し、特にあの九州北西部に最初に伝来したかを、逆さの地図で示されて、大いに納得！そしてどのように広がり、どのように危険視されるようになったか、そしてどのように禁制となったか？など。さらに潜伏キリシタン、どのように「潜伏」出来たか？そんな中「殉教」や「・・の乱」、「・・崩れ」がどうして、どのように起こったか？そして禁教令が解かれるまで、とにかく、落語か講談を聞いているような、それも柔らかい京都ことばで語られる「お話」にどんどん引き込まれていきました。そして最後は「信徒」が発見され、信仰の表明と事実上の教会復帰がなされ、「潜伏」が終り、カトリック信徒としての、溝口さんご自身のお家のこと、日常のことまで伺うことが出来て、とにかく「へえー」「ふうーん」の連続でした。

お話の終わった後での質問タイムも、次から次へと質問が。あっという間に、例会終了時間が迫りました。12月生まれの方お誕生祝いにはなかのしまメンバー以外にトゥービーさんのお二人もいらっしゃって、楽しくHappy Birthdayをハミングしました。YMCAの歌そして保田会長の閉会点鐘で、中身の濃い12月例会が閉会しました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

『留学生英語スピーチコンテスト』に参加して

吉田　由美

11月12日、大阪YMCA土佐堀会館２階ホールで開催された「2021 English Speech Contest」に、杉浦さんと参加いたしました。なかのしまの担当主事であり、大阪YMCA国際専門学校の学科長でもある古谷佳之さんよりご案内があり、“なかのしま”としても、事業として留学生支援を検討していましたので、興味を持って聞かせて頂きました。２階ホールには、プレゼンター10名の他、審査をされる先生方、YMCAのスタッフの他、友人を応援に来た留学生約150名が集まり、スピーチへの声援で若い熱気に溢れていました。10名はコンテストに勝ち残ったファイナリストで、全員が力強い声と発音で５分間という時間制限の中、夫々が決めたテーマによりスピーチを行いました。

ファイナリストの国籍は、ベトナム３名、モンゴル２名、カンボジア・ネパール・ベラルーシ・日本・インドネシア各１名です。また、彼らは国際ホテル学科/国際ビジネス学科の学生で、夫々の学科定員は130名、計約260名17か国の留学生の中から選抜された10名です。卒業生のうち約30%は大学や専門学校に進学しますが、残りの人たちは企業へ就職しています。全学生の65%が女性ですが、コロナ禍によりホテル業界の衰退傾向が見られる事から、就職を諦め進学へ変更する者も出てきています。

コンテストの結果は、１位Barsha Magar（ネパール）の「A Strong Foundation」で、知識や経験、PCスペック等が自分自身を守る強固な基盤となる事を、はきはきとした会話で発表しました。因みに２位はYuliya Azanovich（ベラルーシ）３位はUlziibat Gantumur（モンゴル）です。卒業後は、社会に巣立つ若者達に心からの応援と拍手をお送りいたしました。

◇1月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*

江見　淑子　１日　今井　利子　19日

ミャンマーに思いを寄せて【7】

杉浦 眞喜子

前回、私の２回目以降４回目までのミャンマー訪問のことを書きましたが、何だかごちゃごちゃして分かりにくい・・とのコメントを頂きました。スミマセン！

みなさんに紹介したかったのは、1997 年暮れから 10 数年の間の訪問時、いつも最後はみんなで歌い踊る場になっていたということでした。そして必ずこの歌を歌いました。

「チェズティンバデー、チェズティンバデー、チェズティンバデーメィスィミャー、　ハレルヤ、ハレルヤ、チェズティンバデーメィスィミャー」

（「ありがとう！ありがとう！ありがとうみなさーん、ハレルヤ、ハレルヤ、ありがとうみなさーん」）

歌うのは大好きだけど、踊るのは苦手な私も、知らない内に踊りの輪の中に入ってしまうのでした。見よう見まねで手足を動かしみんなの輪の中に入れて頂きながら、「ああ！これがミャンマーだ！」「こんなミャンマーが大好き！」といつも思っていました。あれから 10 年余り、近代化の進んだ彼の地で今もこんなことが起こっているのか？また今軍事クーデターの中にある彼の地では？と祈りつつ考えてしまいます。

そして、マンダレー郊外のタダイシェ村のこと。少し前の「大阪青年」に少し書かせて頂きましたが、私は８月に行われた YLab「アジアの今、ミャンマーの現状・・・」に Zoom 参加しました。そこで現在マンダレー YMCA スタッフの M さんの生の訴えを聞くことができました。その M さんこそ、あの 7、8 年前神戸の PHD で研修を受けていらっして、民主化が進み近代化しつつあるミャンマーの農村での保健衛生に関わる仕事に希望を燃やしていらっした方でした。その彼女が泣きながら今のマンダレーの様子を語ってくれました。

先日「ミャンマー、街の人出は戻ったが・・」との新聞記事を読みました。「にぎわう市場 沈黙する市民」「ヤンゴン 大きな牢獄のよう」との見出しでした。あの一緒に歌い踊った人たち、マンダレーのあの M さんたち、どうしていらっしゃるかしら？と胸が痛みます。そして、今私たちに何が出来るだろうと考える日々です。

「私と『おしゃれ』」

藤好　基子

皆さまはいつ頃「おしゃれ」に目覚めましたか？ 私は小学生の低学年だった時に出会った Dior のファッションルーム勤務の親戚のお姉さま方を見たときです。お二人は素敵な装いで、髪を染め、マニュキアをしていらっしゃいました。今では誰でも髪を染めていますが、その当時は今みたいに髪専用の染料は市販されていませんでしたから不思議に思い「どうしたらそんな色になるの？」と幼い私が質問したら「オキシドールか、ビールで染めるのよ」とおっしゃいました。おバカな私は、どうなるかも考えずこっそりとオキシドールを髪に振りかけ（姉の証言では一本使ったそうです）次の朝に家族が全員悲鳴を上げたそうです。このことで父母には叱られた記憶はありません。（笑）

爪の手入れ（爪の形を整え、ベースコートを塗り、マニュキアを塗り、オーバーコートを塗るという作業））に目覚めたのは大学生になってからで、最初のころは自然な色や透明色を大人しく塗って楽しんでいました。映画『キャバレー』の主人公がキラキラの緑色のマニュキアで生き生きと踊ったり歌ったりしたのを見たとき「緑色を塗りたい！」と初めて濃い色を塗ってみました。なんだか映画の主人公になったようなうきうきしたのを覚えています。結婚後もせっせとマニュキアを自分で塗って楽しんでいました。育児中はマニュキアは塗りませんし爪も短くします。赤子に触れるときは自分の楽しみは中止にしていました。（当たり前ですね）子供の成長と共に家族が寝た後、誰にも邪魔されない自分だけの時間を爪の手入れの時としました。夏にはペディキュア（足の爪）も塗って、孫娘に「おばあちゃまの足の指から血が出てる」と騒がれたこともありました。数年前に爪が割れ、ネイルサロンに行って手入をしてもらったら見違えるように補強された爪がうまれました。それ以来ネイルサロンに通い、色や形を楽しんでいます。変身は無理ですが、爪だったら春夏秋冬だけでなく、季節の様々な行事にあったネイルを楽しめます。皆さまも一度爪を彩られてみたらいかがですか？楽しいですよ！

懐かしい元メンバーの方からのお便り

桑野　友子　さんより

なかのしまクラブの皆様

ご無沙汰しております。

皆様と親しくお目に掛かったのは六甲部部会か中西部部会、いずれにせよコロナ禍の前、もう２年近くなりますね。

なかのしまクラブの活動の様子はブリテンで楽しませて頂いています。在籍当時のメンバーの投稿はお顔を思い浮かべながら、又、今年７月から掲載の「ミャンマーに思いを寄せて」は特に興味深く懐かしく読ませていただいています。チャーター当時のなかのしまクラブはミャンマー支援を軸に活発な活動をしていましたね。杉浦さんの２回目のミャンマー訪問「なかのしま号」贈呈には、当時会長だった私も初めてミャンマー訪問をご一緒したことを思い出しました。いろいろと思い出が甦ってきて独りよがりな文になりそうなので、ここでストップします。

この原稿のご依頼を受けて、ロースターをめくってみました。コロナ禍か？退会者が一寸増えている様子、でもチャーターメンバーが沢山残っておられて嬉しく思いました。最近、一寸落着いてきたように思われます。また、お互いの例会を訪問出来ることを楽しみにしております。

寒さに向かう折り、皆様ご自愛くださいませ。

桑野　友子（芦屋クラブ）

ニコニコ献金 12月 13,030円

〈ニコニコメッセージ〉 ― 12 月 ―

☆ 本日はお世話になります。つたない話ですが、楽しんでいただけたらうれしいです。
（京都トゥービクラブ　溝口誠）

☆ 久し振りに大阪なかのしまさんの例会に出席させて頂きました。皆様お元気そうで喜んでおります。合同例会を楽しみにしてますよ！（京都トゥービクラブ　小幡弘）

☆ 今日は久しぶりに例会に参加させて頂き、ありがとうございました。合同例会が楽しくできますように。
（京都トゥービクラブ　古田裕和）

☆ 「溝口さんのお話し、とても印象的でした。過疎化により生きた信仰の語り部が減っている事、残念です。地元感覚から見た島原の乱や潜伏キリシタンについてを、またお聞きしたいです。（東京たんぽぽクラブ　小原史奈子）

☆ 久しぶりになかのしまの例会に参加させてもらいました。潜伏キリシタンの話、大変関心があります。
（大阪センテニアルクラブ　谷川寛）

☆ 画面越しではありましたが久しぶりに皆さんのお顔を拝見でき、とても嬉しかったです。次回は是非、リアルで例会に参加させてください。ありがとうございました！
（立山英展）

☆ 1 年間西日本区をすっかりご無沙汰してしまいましたが、今日は本当に嬉しい例会になりました。年並みに出来る事、少しずつ前に歩みたいなーと思っています。後から押していって下さいネ。（今井）

☆ 忙しはずの時期なのに、教会でクリスマスの仕事がなくて変です。クリスマスの近い夜、きれいな星を探しています。（江見）

☆ 11 月末に大覚寺の望雲亭で友人が２年ぶりに茶会を催しました。秋色も深く絶好のお日和で、大沢の池を望むお茶室で贅沢な午後を過ごしました。コロナ禍がほんの少し落ち着いたからこその一日です。外出できたことをありがたく思いました。（國友）

☆ 國友さんが、久しぶりにリアル参加して下さり、ビジターも多く、うれしい例会でした。「潜伏キリシタン」のお話、ほんとうに興味深かったです。今まで「隠れキリシタン」「潜伏キリシタン」に抱いていた想像とは全然違う、目から鱗のお話、いろいろ質問したかったのに、あててもらえず、時間切れでちょっと残念！（杉浦）

☆ 北六甲は寒いです。朝起きると窓に結露、車も結露で濡れて、乗車する時布できれいにふき取っています。夕暮れ時の運転が非常に危険になってきました。今、車は必需品！神経を集中して運転しています。（武井）

☆ ふじよしさん、由美さん、ゆうハウスのてんじかいにきていただき、ありがとうございました。（武井美帆）

☆ 12 月例会　姉が病気で入院中で、11 日に退院が決まり例会欠席しました。楽しそうで興味のあるお話でしたが聞けなく、残念でした。（藤井）

☆ 京都トゥービークラブの溝口さんが卓話者、そして古田さん、小幡さん、センテニアルクラブの谷川さんが参加してくださって嬉しかったです。Zoom で小原さんも！！詳しい資料をいただき、お話しを聞くことが出来ました。お誕生日カード、ありがとう！（藤好）

☆ やっといろいろできるかなーと思ったとたん、変なものの出現（オミクロン株）。どうぞ、新年会つつがなくできますように・・・。（保田）

☆ 心待ちにしていた卓話、潜伏キリシタンのお話をやっと聞けました。アドベントのときにふさわしい例会で、いつにも増してワクワクでした。（山佐）

☆ 今月の卓話は 「隠れキリスタン」のお話だったと思う。当時のキリスト教徒さん達はお祈りをするに非常に苦労されたみたいですね。我が家は仏教だったので、お祈りの苦労はなかった。（吉岡）

☆ ２年間心待ちにしていた溝口さんの卓話でした。五島・平戸・長崎を巡り、遠藤周作の小説を読み、私自身の中に、試練に耐える潜伏キリシタン像が出来上がっていましたが、お聞きした内容は全く違っていました。美しい海と空が明るい強い長崎人を作り上げたのでしょうか。是非、再訪したいと思っています。（吉田）

☆ 結婚９周年の日を迎えました。次は錫婚式の 10 年を元気で迎えたいです。（和田）

YMCAニュース

★第 336 回早天祈祷会

日時：2022 年 1 月 21 日（金）7：30～8：15
※朝食会はございません。
証し：林 健児郎さん（六甲山 YMCA グローバルラーニングセンター 野外教育・研修事業長）
場所：大阪 YMCA 会館　10 階　チャペル

★第 26 回大阪 YMCA チャリティーラン 2021 開催のお知らせ

日時：2022 年 3 月 20 日（日）
受付会場：花博記念公園鶴見緑地　パーゴラ広場
お問い合わせ：大阪 YMCA チャリティーラン事務局
TEL：06-6441-0894　FAX：06-6445-0297
MAIL：chari-run@osakaymca.org

大阪 YMCA クリスマス献金にご協力をお願いします！

＊国際協力募金
＊個別支援プログラム支援金
＊国際奨学金支援金
＊国際協力活動支援金
＊青少年育成活動支援金

【期限】2021 年 1 月 31 日（日）まで
【お問合せ】お近くの YMCA またはクリスマス献金事務局
（TEL: 06-6441-0894）

12 月第２例会報告抄

日時：2021 年 12 月 15 日（水）19 時～
場所：Zoom にて
出席者：12 名

1. 「2022 中西部新年会」について、役割分担など確認した。
2. 次期の主査について、藤好さんは「国際交流主査」に変更になったとの報告があった。
3. チャリティーランについては、既に 10 名登録済みであることを確認した。

編　集　後　記

あけましておめでとうございます！
新しい年、どんな年になるでしょう？　希望を持って歩みを進めたいですね。